

宮城県感染症発生動向調査情報(確定版)

令和元年8月22発行

2019.8.5～2019.8.11 ー第32週ー

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第29週	第30週	第31週	第32週
水痘	1 0.25	2 0.20			1 0.33	1 0.20		7 0.26	12 0.21	988				
流行性耳下腺炎		2 0.20			1 0.33			3 0.11	6 0.10	174				
感染性胃腸炎		24 2.40	8 1.60	13 6.50	4 1.33	2 0.40		79 2.93	130 2.24	10,466	◎	◎	◎	◎
手足口病	123 30.75	216 21.60	159 31.80	36 18.00	47 15.67	127 25.40	50 25.00	692 25.63	1,450 25.00	7,013	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	1 0.25		5 1.00	1 0.50	1 0.33	9 1.80	3 1.50	2 0.07	22 0.38	2,680	○	○	○	レ
突発性発しん	4 1.00	5 0.50	2 0.40	1 0.50	3 1.00	2 0.40		17 0.63	34 0.59	937	○	○	レ	○
ヘルパンギーナ	7 1.75	13 1.30	38 7.60	10 5.00	18 6.00	13 2.60	2 1.00	63 2.33	164 2.83	919	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	4 0.57								4 0.04	30,406				
咽頭結膜熱	1 0.25		1 0.20					8 0.30	10 0.17	529	レ			
流行性角結膜炎		2 0.67						9 1.50	11 0.92	97				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17 4.25	12 1.20	1 0.20	2 1.00	4 1.33	31 6.20		26 0.96	93 1.60	6,148	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	2				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00			2 2.00	1 0.20	5 0.42	121				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	33 8.25	22 2.20	4 0.80			6 1.20		89 3.30	154 2.66	1,251	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	30				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1				4	4					
	川崎病													
	不明発しん症		1						2					

◎: 流行の変化について, 今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について, 今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(無症状病原体保有者)
仙台管内 女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
仙南管内 女性1名
仙台管内 男性1名, 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
仙台管内 男性1名, 女児1名*
腸管出血性大腸菌感染症(O103)
仙台管内 女性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
石巻管内 男性1名
塩釜管内 男性1名
仙台管内 男性3名
- 5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 男性1名 (Enterobacter cloacae)
梅毒
仙台管内 女性1名(第31週), 女性1名
破傷風
仙台管内 女性1名
百日咳
登米管内 女性1名
仙台管内 女性1名

※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [手足口病]
すべての管内で警報レベルを継続中です。
- [伝染性紅斑]
大崎, 石巻管内で警報レベルを継続中です。
- [ヘルパンギーナ]
大崎, 栗原, 登米管内で警報レベルを継続中です。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
石巻管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定		中間報告	
	第29週採取分 (7.15～7.21)	第30週採取分 (7.22～7.28)	第31週採取分 (7.29～8.4)	第32週採取分
RSウイルス	2件	4件	9件	
ヒトメタニューモウイルス	0件	0件	1件	
アデノウイルス	2件	0件	0件	
ライノウイルス	0件	3件	0件	
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件	
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件	
パラインフルエンザウイルス3型	2件	1件	0件	
パラインフルエンザウイルス4型	1件	0件	0件	

4. 今週のコメント

【手足口病】

乳幼児を中心に, 手や足, 口の中などに水疱性の発疹ができる急性ウイルス性の感染症です。県内の患者数は先週の2,000人から1,291人と減少し, 定点当たりの患者報告数は22.26人となりました。未だ県内全域で流行が継続しており注意が必要です。引き続き手洗いなどの予防対策の徹底を心がけてください。

【RSウイルス感染症】

RSウイルスにより引き起こされる急性の呼吸器感染症で, 主な症状は発熱や鼻水です。患者の咳, 鼻水等からの飛沫を吸い込んだり, ウイルスが付いたものを触ることにより感染します。特に乳幼児に多くみられ, 生後6ヶ月未満の乳児では肺炎などを起こし重症化することがあります。通常は秋から冬を中心に流行しますが, 近年は流行が早く始まる傾向にあります。今週に入り患者数の増加傾向がみられ, 仙台医療センターウイルスセンターでもRSウイルスが多く検出されています。今後の流行に注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

